

## 海蔵小学校が四日市一番!!



昨年九月二十二日の海蔵小学校運動会です。クラス数二十八、児童数八百三十二名(十二月現在)、平成二十四年度、市内で児童数最多の小学校になりました。

平成二十一年頃をピークに、県、市の人口が減る中で海蔵地区では世帯数で二百余、人口で三百余増えています。秋の地区運動会で社協広報部が行ったアンケートでは回答者百八名のうち五十二%がこの二十年の間に地区外、県外からこの地区に移り住まれた方々とのことでした。その理由を尋ねると「交通・買い物の便が良く、病院・学校までの距離が近い。」などの答えが多く、「海蔵川や田畑などの自然が多くのだかなと場所があり住環境のバランスが良い。また、地域活動が活発でとても良い。昔からの住民と新しい住民がうまくおつきあいできたらもっと良い町になると思う。」といった感想もいただきました。昭和五十年代後半から駅まで徒歩圏内の工場や倉庫、事業所の社宅用地が一户建て、集合住宅用に転用されていったことも理由の一つかもしれません。一方心配なこと、地区に望むことは、との設問には、「交通量が増えたこと。子どもが遊べる公園がもっとあるとよい。」という意見が圧倒的でした。

今一度、子どもたちのふるさとなるこの海蔵地区を、古くから住む人も、新しく家族の安住の地に選んだ人も、歩いて、見て、新しい発見をしてみませんか。

# シリーズ おばちゃま探検隊

# 海蔵小学校訪問



今回の訪問先は、市内一児童数が増えた海蔵小学校です。  
11月13日校長室をお訪ねしました。  
上浦健治校長は20数年前、新任教師として赴任されたのが海蔵小学校で、以後6年間この地で教鞭を取られたとのこと。当時の学校の様子や地区の環境もよくご存知で、隊員とも思わず昔話に花を咲かせました。以下は先生へのインタビューの内容です。

## ☆児童数が増加したことによる

- 良いこと
  - ・活気があってにぎやかなこと
  - ・お互いに切磋琢磨できる環境であること
  - ・ダイナミックな活動ができること。
- 心配なこと
  - ・施設面で余裕がないこと。空いている教室がないので来年度の新入生数が、今年と変わらず5クラスで収まると聞いてホッとしている。
  - ・校舎の老朽化も心配だが、耐震工事は完了している。
- 先生方の目が行き届かないのではとの質問には
  - ・今年度から教頭先生が二人、養護教諭も二人配置になっている。
  - また特別支援教育のための支援員に来てもらっている。
  - ・少人数授業や生徒指導を充実させるための教員が増員されている。
  - ・特別支援学級へは介助員が配置されている。
  - など「大丈夫」とのこと、おばちゃまは安心。



## ☆コミュニティスクールについてのお話がありました。

コミュニティスクールとは、地域とともにある学校作りを目指して双方が協働して行く制度のことです。  
平成24年度には海蔵小学校が四日市版コミュニティスクールのひとつに指定されたことによって、地区連合自治会長等の地域関係者が委員となって当校に設けられた「運営協議会」においてさまざまなことが協議されています。現在、夏休み中の花壇の水遣り、登校時の裏門の旗当番、通学路点検、家庭科授業やクラブ活動の折の地域の人による協力などが実施されていて、色々アドバイスもあり、学校としてはとても感謝しているということでした。  
地域が学校と協力し合っていくことが、将来の海蔵地区を担う子どもたちのために、大変重要なことであろうとの実感を持って校長室を後にしました。  
校長インタビューに先んじて、10月30日、6年生の修学旅行中に実施された、「給食試食会」も探検して来ました。1年生児童の保護者対象の催しでしたが、若いお母さんたちに溶け込んで、勉強させていただきました。



給食の時間を見学しました。その日のメニューは「ビビンバ、豆腐とわかめのスープ、牛乳」でした。子どもたちにも人気が高いメニューでとてもおいしく、早ばやと「完食」させてもらいました。食欲のある子たちは並んでおかわりをしていました。食べ残しを減らす工夫の一つになるのでしょうか。



▲ビビンバ、豆腐とわかめのスープ、牛乳

## ☆栄養士さんのお話（児童数が増加した結果）

- 良いこと
  - ・大量に作る煮込み料理がおいしくなる。これは大いにうなずけました。
- 苦労していること
  - ・野菜のほとんどの物を手で切っているため、調理員さんが大変で、増員して現在11名。
  - ・アレルギー体質の子の数も増加したため、(20名くらい)配慮が大変。
  - ・食べ残しの量の増加。何十キロにもなることもある。
- 隊員が学んだこと
  - ・給食一食で一日に必要な栄養の三分の一を摂れるようになっている。
  - ・カルシウム、ビタミン類は必要量の二分の一が摂れるようになっている。
  - ・家庭において、好き嫌いを無くす努力をすることが、大変重要である。

年間食事回数	1095回
給食回数	190回
家庭での食事	905回

家庭での食事の大切さは一目瞭然、そこで  
**1, 調理の工夫**      **2, 食事中は叱らない**      **3, 調理、配膳を手伝わせる**  
等を毎日実践すること。
- その他
  - ・食材については野菜、果物はなるべく地場産の物を使用するようにしている。
  - ・月、水、金曜は米飯

## ☆養護の先生のお話

- 毎月、延べ150人の子どもたちが保健室に来るが、その内の15%が朝ごはん抜きである。
- 朝ごはん抜きでは、低体温となり、朝の排便も無いまま登校する。
- ◎とにかく早寝、早起きさせること。
- ◎休日はしっかりと休ませることによって、週明けに元気に登校出来る。

6年生が旅行中のため、5年生の子から牛乳パックを再生用に簡単に開く方法を教えてもらいました。残飯も肥料などへ再利用されるようエコにも心配りがなされていました。  
平成の今、800余名の子どもたちが学び育つ海蔵小学校は、明治8年、教員2名、児童数130名で末永正福寺に開校し、明治12年、水車（現 浜一色町）に校舎建設、明治32年、現在地に新築、昭和20年戦災で全焼した校舎は、地区有志による「四日市市海蔵国民学校復興委員会」の支援を得て、昭和21年から23年にかけて再建され、昭和34年の伊勢湾台風による講堂の倒壊などを経て現在に至っています。(海蔵小学校創立百年誌より)





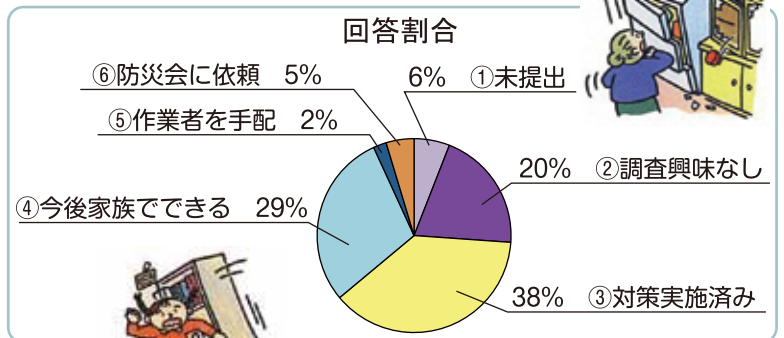
# 地震に備えて家具・家電製品の転倒防止を!!

海蔵地区  
防災会

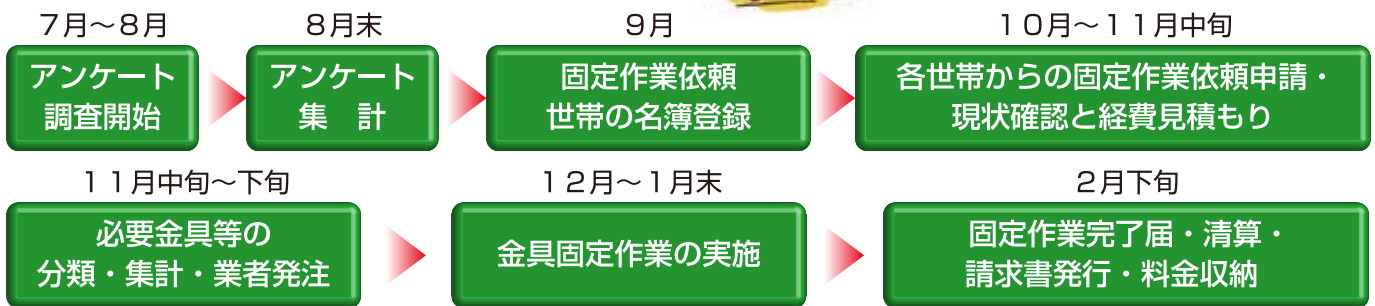
## 固定推進事業を実施しました

地震による災害では、住宅の倒壊を逃れても倒れたり、落下したり、また飛んで来る家具や家電製品などによって負傷し、更には亡くなる人がいます。海蔵地区防災会では、地域でそのようなことを少しでも防ごうと「家具・家電製品等の固定推進事業」に取り組みました。先ず各自治会において会員世帯を対象に「家具・家電等の固定に関するアンケート調査」を行いました。そして調査の中で、「家具・家電等の固定はしたいが、どのような方法であればよいのか分らず地区防災会にその作業を依頼したい。」と回答された世帯の皆さんには自主防災隊員が訪問して現状確認を行いました。そのうえで、作業依頼申請を提出された156世帯を対象に、地区内の建設作業有識者であるボランティアや作業研修修了者により固定作業を実施しました。

回答区分	回答数
① 未提出	199
② 調査興味なし	676
③ 対策実施済み	1,267
④ 今後 家族でできる	979
⑤ 自宅で作業を手配	73
⑥ 地区防災会に固定を依頼	156
合計(調査世帯数)	3,350



### 家具・家電製品等固定作業の手順



### 固定完了例



チェーンによる家具の固定



L型金具による家具の固定



突っ張り棒による家具の固定

壁に固定金具を設置できる位置により、固定金具を選定。固定位置がない場合は、家具と天井の間で固定。



ベルトによるテレビの固定 (左:前面 右:背面)



固定作業実施状況	
件数	74世帯
使用金具等	562個
作業日数 述べ	55日
作業人員 述べ	118人

# かいぞうWalker

～海蔵地区の自慢を聞きました！～

平成24年11月4日に開催された「海蔵地区連合運動会」で、108人の地域みなさんに「海蔵地区のいいな！」と思うところを聞きました。その声をもとに、このページを持ち歩きのできる「かいぞうタウンマップ」にしました。

## 海蔵川の桜並木

たくさんの方が「海蔵川」「桜まつり」「桜並木」と口々に紹介してくださいました。

四日市市内に桜の名所はいくつかありますが、これほど広い河川敷でゆったりとお花見を楽しむことができるのは、海蔵川ならでは！

## 堀川の菖蒲園

次に紹介の多かった「菖蒲園」「菖蒲まつり」。海蔵地区社会福祉協議会・花部が中心となって毎年お世話をしています。

## 暮らすのに便利！

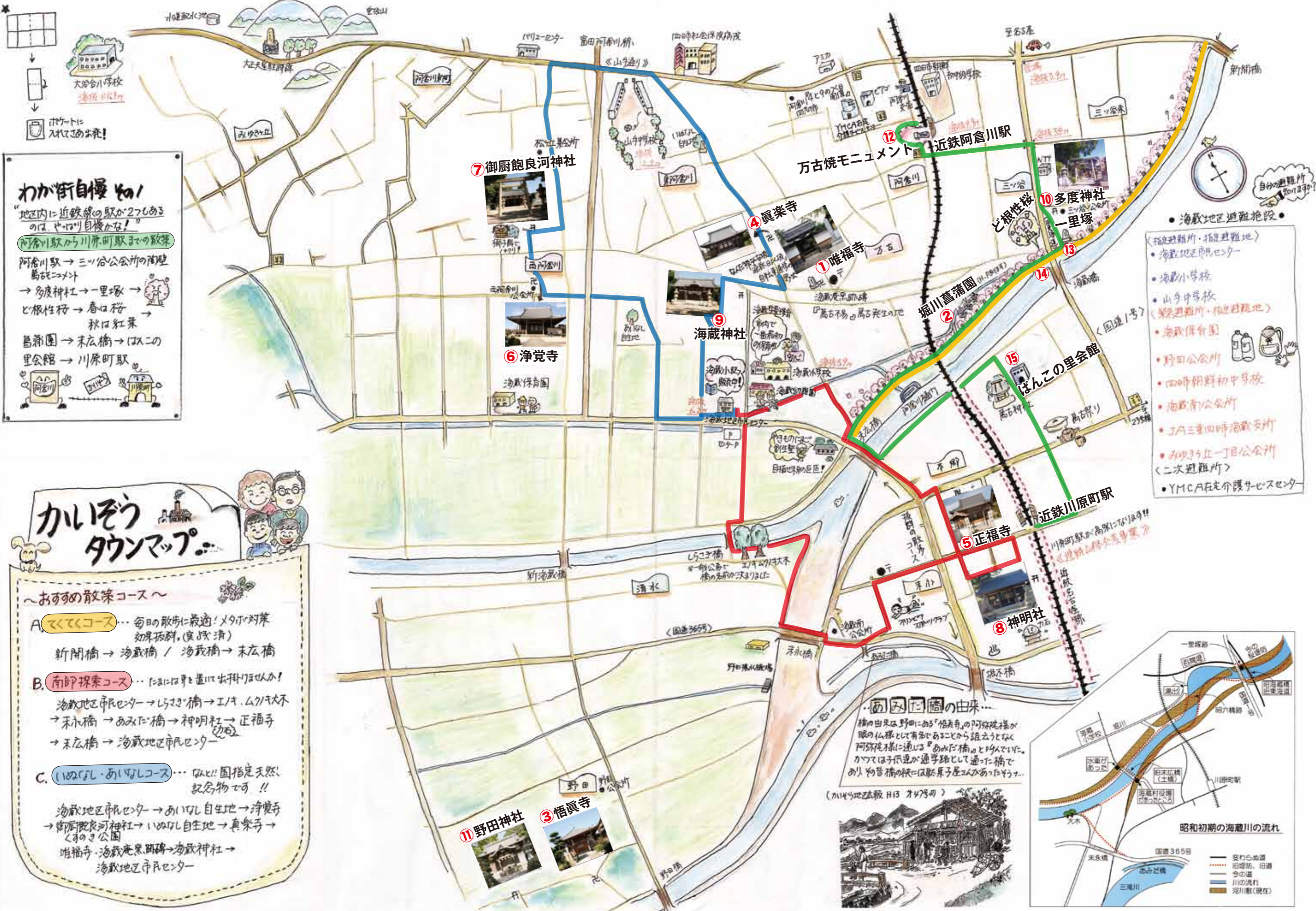
「かいぞう文庫があって便利」(未永・10代)

「駅、小学校、店、病院が近くにあること」(阿倉川・30代)

「子どもを育てるのに良い環境 今後も住み続けたい」(西阿倉川・40代)

「川、花、地場産業があり、住むにはとってもいい土地」(三ツ谷・60代)

海蔵小学校の児童数が四日市市内で一番多いのも「暮らしやすさ」から？



### わが街自慢 ①

「地区内に近鉄線の駅が2つあるのは、やはり自慢かな！」

阿倉川駅 → ミツ谷公会館の海蔵橋モニュメント  
 → 多度神社 → 一里塚 → 比根性務 → 春は桜 → 秋は紅葉  
 菖蒲園 → 末広橋 → はらの里会館 → 川原町駅

- 海蔵地区避難施設 ●
- 〈指定避難所・指定避難地〉
- 海蔵地区市民センター
  - 海蔵小学校
  - 山手中学校
- 〈緊急避難所・指定避難地〉
- 海蔵保体園
  - 野田公民館
  - 四時朝鮮初中学校
  - 海蔵南公民館
  - JA三重四時海蔵支所
  - 川原町止一丁目公民館
- 〈二次避難所〉
- YMCAs在宅介護サービスセンター

## かいぞう タウンマップ

- ～あそぶの散策コース～
- A. <<<コース** ... 毎日の散歩に最適! メタボ対策 効果抜群。(実践済)
- 新聞橋 → 海蔵橋 / 海蔵橋 → 末広橋
- B. 南部探索コース** ... 自然を満喫して出掛けませんか!
- 海蔵地区市民センター → しんご子橋 → エノムツキ大木 → 末広橋 → あみだ橋 → 神明社 → 正福寺 → 末広橋 → 海蔵地区市民センター
- C. いぬやし・あひなしコース** ... なつ! 国指定天然記念物です!!
- 海蔵地区市民センター → あひなし自生地 → 浄覚寺 → 御厨飽良河神社 → いぬやし自生地 → 眞楽寺 → 唯福寺 → 海蔵地区市民センター

「あみだ橋」の由来...

橋の由来は野田にある「悟眞寺」の阿彌陀様が眼の仏様として有名であることから語るとはなく阿彌陀様に通じる「あみだ橋」と呼んでいた。かつては子供達が通学路として通った橋であり、物置橋の架けには駄馬子屋敷があったと云う。

(かいぞう地誌版 H13 0475号)



# 海蔵地区内には、多くの神社・仏閣があります。由緒については、「かいぞう地区ホームページ」にも載っています！

かいぞう地区 [検索](#)



ゆいふくじ  
①唯福寺

真宗大谷派田端山唯福寺。文正元年(1466)南勢の武士田端十郎政元が当地で出家。空正と号して天台宗より真宗本願寺に転宗して創立した。



かいぞうあなかまあとひ  
①海蔵庵窯跡の碑

文政12年唯福寺住職田端恭教が信楽から陶工を招き製陶を始めた。



ほりかわしょうほうえん  
②堀川菖蒲園

四日市市制100周年(平成9年)に開園した。



ごしんじ  
③悟真寺

浄土宗知恩院末派の仏法山悟真寺。



しんらくじ  
④真楽寺

浄土真宗本願寺派。上野山真楽寺。往古天台宗として創立されたが、応仁元年(1467)本願寺蓮如上人当地化導の際、当時の了空住職が上人に深く帰依し、六字尊号を賜り真宗に改宗した。



しょうふくじ  
⑤正福寺

真宗大谷派。永照山正福寺。元、天台宗であったが永正11年(1514)時の住職西了師が実如上人化導の際、上人に帰依して転宗した。



じょうかくじ  
⑥浄覚寺

浄土真宗本願寺派。文明16年(1482) 館太郎平貞治が蓮如上人に帰依して僧籍に入り海蔵山浄覚寺として建立された。



みくりあくらがわ  
⑦御厨飽良河神社

古くから浄覚寺の守護神としてあった。この地の産土神北山社として祀られていた。その後、西阿倉川地内の二社を合祀した。



⑦獅子舞

御厨飽良河神社が祀られた明治の初期に五穀豊穰・感謝の記念として、獅子舞の奉納がされている。



⑧神明社

伊勢の神宮の分霊社として建立された。



⑧カ石

神明社には拝殿の左右に「カ石」が保存されています。それぞれ約60kgと80kgの重さがある。



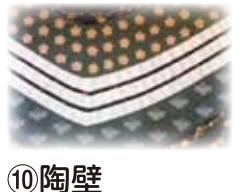
⑨海蔵神社

古くから東阿倉川地域に散在していた五社が合祀された。



⑩多度神社

桑名市の多度神社の御分霊を三ツ谷の産土神として奉斎した。



⑩陶壁

三ツ谷町公会所万古焼陶壁



⑪野田神社

旧幕時代牛頭王社と称したが神社合祀の際明治以降野田神社と改称した。



⑫近鉄阿倉川駅と万古焼モニュメント

市制100周年を記念して造られた。



⑬一里塚

海蔵川堤防脇の青空公園の一里塚石碑



⑭ど根性桜

海蔵橋北詰コンクリートの隙間から生えてきた。元気！。



⑮ばんこの里会館

陶芸の体験教室・万古焼の販売(うつわ亭)・コミュニティーレストラン(にじいる堂)・多目的ホールがある。



⑯近鉄川原町駅(工事中)

「鈴鹿山脈を眺めることができます。天気の良い日には、遠くに伊吹山が見えることも。海蔵川や阿倉川西富田線を散歩するのは、とても気持ちがいいです。」(万古・40代)

